

令和 6 年度 子ども大学しき

1. 実施体制

子ども大学しき	学長	志村 二三夫（十文字学園女子大学学長）
	副学長	柚木 博（志木市教育委員会教育長）
子ども大学しき実行委員会	実行委員長	木下 武久（NPO法人アンサーズネット）
	実行委員 （関係団体）	NPO法人アンサーズネット、十文字学園女子大学、志木市教育委員会
	問合せ先	志木市教育委員会生涯学習課（048-473-1134）

2. 事業内容

開催回数	2 回	開催期間	令和 7 年 3 月 1 日、令和 7 年 3 月 8 日			
参加者数	2 4 名	内訳	小学 4 年生	7 名		
			小学 5 年生	1 2 名		
			小学 6 年生	5 名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	3 月 1 日（土）	
		1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0	
生 き 方 学	会場	いろは遊学館	
	講義名	テレビ番組の舞台裏 ～アナウンサー体験もしてみよう！～	
	講師	テレビ朝日広報局 お客様フロント部 田邊美樹氏	
2 日目	開催日時	3 月 8 日（土）	
		1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0	
は て な 学	会場	十文字学園女子大学	
	講義名	謎解きクリエイターになろう！	
	講師	十文字学園女子大学 文芸文化学科 教授 星野祐子氏	

ディレクター、タイムキーパーの練習をする子ども達

謎解きの講義を受ける子ども達

4. 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	・アナウンサー体験では、速報の入りが分かった。 ・テレビ放送のしくみを頭で分かっただけではなく、体験することが出来て、その時の状景が頭に残っています。 ・テレビの裏では、どのようなことが行われているかがわかって作る大変さを知れたので、このことを考えてテレビを見たいです。 ・アナウンサーが練習のときより緊張してうまくできませんでしたが、どんな感じにニュースをはじめているか、どんな役割があるのかを知れて良かったです。 ・学校では分かりずらかった、漢語や和語などが、わかりやすくて、なぞときも作れた。 ・なぞときを作るのはすごく楽しかった。 ・自分で作った謎なぞをみんなの前で問題を出したことが心に残りました。 ・なぞときが苦手だからどうかと思ったけど、楽しかった。
保護者の声 (感想)	